

子どもが安心して、学校に行きたいと思える毎日を ⑤

城見小学校では、就学前教育の推進に伴って、昨年度から城見保育所との連携教育に取り組んでいます。そこで、入学した1年生が保育所での幼児教育から小学校教育へスムーズに移行できるようにするための「スタートカリキュラム」を作成しました。

この「スタートカリキュラム」をもとに、1年生の入学から約1か月間の取組を少しずつ紹介していきます。

合科的・関連的な指導【1】

保育所での幼児教育では、遊びや生活といった直接的な体験を通して総合的に学ぶ教育が行われています。スタートカリキュラムでは、単元

または1単位時間の中で複数の教科の目標や内容を組み合わせ、子どもが具体的かつ総合的に学習できるように工夫することが大切です。

生活科を中心として各教科学習につなげていく

<p>〈どうぞ よろしく〉 【国語0.5h生活0.5h】 ○自己紹介の名刺をかく ・名前 ・好きなものの絵</p>	<p>〈なかまづくりのゲームをしよう〉 【生活0.5h算数0.5h】 ・先生が言った言葉の音の数と同じ人数のグループをつくる ・1～5までの数字の書き方を知る</p>	<p>〈みんななかよし〉 【道徳0.5h国語0.5h】 ・挿絵を見て、みんなでなかよくするにはどうすればいいのか考え、実演してみる 〈なんていおうかな〉 ・国語の教科書の挿絵を見て、さまざまな関わりでどんな声かけをしたらいいのか考え、実演してみる</p>
<p>【国語0.5生活0.5h】 ・つくった名刺を交換しながら自己紹介する</p>	<p>【算数0.5h音楽0.5h】 ・出席番号を知る ・自分の出席番号を覚える ・出席番号順に並ぶ ・なかまづくりのゲームをする 「ジャンケン列車」 「もしもしかめよ」(手遊び)</p>	<p>【生活0.5h体育0.5h】 ・運動場に出て、みんなで遊ぶ 「ふやしおに」 「つなわりジャンケン」 「じゃんけんかけっこ」</p>



〈名刺づくり(どうぞよろしく)〉



〈名刺交換(どうぞよろしく)〉



〈なんていおうかな〉



ジャンケン列車
〈なかまづくり〉

この単元は、4月第1週の3日間のものです。

〈どうぞ よろしく〉は、国語科の「どうぞよろしく」と生活科の「なかよくなるうね」を関連させた活動。ひらがなの指導に入る前なので、個々の机に貼っている名前のシールを見ながら名刺を書きました。何枚か作った名刺を前や後ろの座席の友だちと交換しながら、「名前は〇〇です。好きなものは△△です」と自己紹介しました。

〈なかまづくりのゲームをしよう〉は、子どもたちの意識の流れをつなぐために、生活科と算数科、音楽科とを合科的に扱った単元。保育所で親しんできたゲームや手遊びを取り入れたり、体験を重視したりすることで、よりいきいきと活動できるようにしました。1～5までの数字の書き方や自分の出席番号も、楽しいゲームの活動の中で意欲的に覚えることができました。

〈みんな なかよし〉は、道徳の「みんななかよし」と国語科「なんていおうかな」を関連させ、単元の入り口に。いろいろな場面で様々な人とかわる学校生活を送る中で、なかよくするためにどうすればいいのかを考え、役割演技をしたり実演したりしました。生活科と体育科を単元の出口にして、おにごっこやつなわりジャンケンなど知っている遊びをすることで、友だちづくりにつなげました。